

高校世界史プリント（過去問類似）  
世界史B（旧課程の過去問） No.9

名前

得点

/10

問1 前漢末期に外戚として権力を握り、帝位を奪って新を建国した人物は誰か。この人物は、周代の制度を理想とした急激な改革を行ったが、社会の混乱を招き、赤眉の乱などが起こる中で滅亡した。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 蕭何                                      2. 王莽                                      3. 商鞅                                      4. 霍光

問2 19世紀末にホセ・リサルがプロパガンダ運動を展開し、のちにアギナルドが独立運動を指導したフィリピンは、16世紀後半から1898年のアジア太平洋地域をめぐる戦争で敗北するまで、どこの国の植民地支配下にあったか。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. イギリス                                      2. フランス                                      3. オランダ                                      4. スペイン

問3 ヴォルムス帝国議会において皇帝カール5世から帝国追放処分を受けたルターを、自身の居城であるヴァルトブルク城に匿って保護し、新約聖書のドイツ語訳執筆を助けた神聖ローマ帝国の有力な諸侯は誰か。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. ザクセン選帝侯モーリッツ                      2. ザクセン選帝侯ヨハン                      3. ザクセン選帝侯フリードリヒ                      4. ヘッセン方伯フィリップ

問4 19世紀前半のイギリスにおいて、自身が経営するニューラナーク紡績工場で労働環境改善に努め、のちにアメリカでニューハーモニー村を建設して共同社会の実現を試みた、サン・シモンやフーリエらとともに「空想的社会主義者」と称される社会改革家は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. サン・シモン                                      2. ロバート・オーウェン                                      3. シャルル・フーリエ                                      4. ピエール・ブルードン

問5 19世紀後半、ビスマルク指導下のドイツ帝国は、ベルリン・コンゴ会議の開催前後から本格的なアフリカ進出を開始した。この時期にドイツが保護領化し、第一次世界大戦での敗戦まで領有した、ギニア湾に面する西アフリカの地域はどこか。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. カメルーン                                      2. タンザニア                                      3. ルワンダ                                      4. ナミビア

問6 明の初代皇帝が、農民を組織した村落行政制度の整備と並行して、民衆の道徳的教化を図るために発布した、父母への孝行や近隣との和睦などを説いた6か条の教訓を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 六諭    2. 聖諭    3. 郷約    4. 律令

問7 古代アテネにおいて、前5世紀前半の対外戦争の際に三段櫂船の漕ぎ手として軍事的に貢献したことで政治的発言力を強め、のちにペリクレスの指導下で完成する直接民主政の推進力となった、財産を持たない下層の市民階層を何と呼ぶか。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. 国家奴隷                                      2. 周辺市民                                      3. 在留外人                                      4. 無産市民

問8 1960年代後半にアメリカ合衆国が本格的に軍事介入したインドシナ半島での紛争では、森林を破壊するための枯葉剤が大量に散布され、深刻な環境破壊と健康被害をもたらした。この出来事は米国内でも激しい反戦運動を巻き起こす契機となった。この紛争の名称を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. ソマリア内戦                                      2. キプロス紛争                                      3. ベトナム戦争                                      4. ビアフラ戦争

問9 15世紀半ばのドイツにおいて、金属活字を用いた印刷技術を改良・実用化した人物は誰か。この人物がもたらした技術は、のちにルターが開始した宗教改革において、思想が急速に拡散する技術的基盤となった。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. ボッティチェリ                                      2. グーテンベルク                                      3. ミケランジェロ                                      4. シェイクスピア

問10 1618年、神聖ローマ帝国領のボヘミア（ベーメン）において、多数派であったチェコ人のプロテスタント信徒らが、ハプスブルク家によるカトリック強制に抗議して反乱を起こした。この反乱が直接的な契機となって始まり、のちにフランスやスウェーデンなども介入して国際紛争へと発展した、17世紀前半のヨーロッパにおける最大規模の宗教戦争は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 英蘭戦争                                      2. 北方戦争                                      3. 三十年戦争                                      4. 七年戦争

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 王莽	前漢末期に外戚として台頭した王莽は、西暦8年に前漢を滅ぼして「新」を建国した。彼は儒教の経典に記された周代の古制を理想とする急激な改革（土地の国有化や奴婢の売買禁止など）を断行したが、現実の社会情勢に適合せず、政治的・経済的な大混乱を引き起こした。この混乱の中で赤眉の乱などの農民反乱が発生し、新はわずか15年ほどで滅亡することとなった。
問2	答え 4 スペイン	フィリピンは、16世紀後半にフェリペ2世の命によって派遣されたレガスピにより征服され、スペインの植民地となった。19世紀末にはホセ・リサルラの民族運動が起こり、1898年の米西戦争でスペインがアメリカ合衆国に敗北したことで、支配権はアメリカに移った。ポルトガルは東ティモールなどを、オランダはインドネシア（東インド）を、フランスはインドシナを支配したため、それぞれ誤りとなる。
問3	答え 3 ザクセン選帝侯フリードリヒ	宗教改革を開始したルターは、1521年のヴォルムス帝国議会で自説の撤回を拒否したため、皇帝カール5世から帝国追放処分（法の保護の剥奪）を受けた。このとき、ルターを救うためにヴァルトブルク城に匿い、新約聖書のドイツ語訳を完成させる環境を提供したのが、ザクセン選帝侯フリードリヒ（賢公）である。これにより、ルターの思想はドイツ国内に広く普及することとなった。
問4	答え 2 ロバート・オーウェン	産業革命期のイギリスにおいて、工場法制定に尽力するなど労働環境改善を推進し、協同組合の設立や共同社会の建設を試みた人物である。マルクスやエンゲルスからは、資本主義の根本的変革ではなく人道主義的なアプローチにとどまったとして、サン・シモンやフーリエとともに「空想的社会主義（ユートピア社会主義者）」と批判的に位置づけられた。国家の廃止を求める無政府主義（アナーキズム）を唱えたわけではない。
問5	答え 1 カメルーン	1884年から1885年にかけて開催されたベルリン・コンゴ会議の前後、ドイツ帝国は後発の帝国主義国としてアフリカ分割に参入した。ビスマルク外交のもとで、ドイツは西アフリカのギニア湾に面するカメルーンやトーゴ、さらに東アフリカや南西アフリカを保護領として獲得した。これらの地域は第一次世界大戦の敗戦によってドイツの手を離れ、国際連盟の委任統治領としてイギリスやフランスに分割された。
問6	答え 1 六諭	明の洪武帝（太祖）は、農民を110戸単位で組織する里甲制を整備するとともに、民衆の道徳的教化を目的として、儒教的な道徳を平易に説いた6か条の教訓である六諭を定めた。これは里長らによって村落で唱導され、のちに清代の聖諭広訓などにも影響を与えた。
問7	答え 4 無産市民	ペルシア戦争において、自費で重装歩兵の武具を弁えられない下層の市民は、軍船（三段櫂船）の漕ぎ手として参戦し、サラミスの海戦などで勝利に決定的な役割を果たした。この貢献を理由に彼らは政治的権利を要求し、民会を中心とするアテネの直接民主政を支える主要な勢力となった。
問8	答え 3 ベトナム戦争	1960年代後半、アメリカはトンキン湾事件を契機に北爆を開始し、インドシナ半島での軍事介入を本格化させた。この戦いではゲリラ戦に対抗するために枯葉剤が使用され、甚大な環境被害が生じた。この戦争は米国内での反戦運動の高まりや国際的な批判を浴び、最終的にアメリカの撤退へとつながった。
問9	答え 2 グーテンベルク	15世紀半ばにドイツのマインツ出身の人物によって活版印刷術が実用化された。この技術は、書籍の大量生産を可能にし、ルターによる聖書のドイツ語訳などの出版物が急速に普及する要因となった。これにより宗教改革の進展が大きく促された。
問10	答え 3 三十年戦争	1618年にボヘミア（ベーメン）で起きたプロテスタントの反乱をきっかけに、神聖ローマ帝国内の旧教（カトリック）と新教（プロテスタント）の対立が激化した。この対立は、デンマーク、スウェーデン、フランスなどの周辺諸国が介入することで、単なる宗教対立を超えた国際的な覇権争いへと発展した。この一連の戦争は1648年のウェストファリア条約によって終結した。